

作業療法士等による個別療育について

合同会社 WISTERIA 代表社員 水口 大督

はじめに

ASTEPは【集団療育】を軸にお子さんと共に療育活動を行っております。その中で、集団での取り組みへ更なる成長へと繋げるため、集団での活動に向けた土台作りの位置づけとした個別療育を並行して行ってまいりました。

今年度から、専門職員（公認心理師・作業療法士）が加入したことで、活動の幅の広がりや個別的な対応について、少しずつではありますが質の向上を感じております。

個別療育で素地（土台）を作り、集団療育を小さな社会生活の場と捉えて実践をする、という考え方のもと、一部のお子さんに対し、作業療法士等による個別療育の実施と検証を重ねてまいりました。

これまでの取り組みを経て、2024年4月より、土曜日（隔週）を基準として本取り組みを開始する運びとなりました。

さまざまご意見を頂戴し、意見へのお答えについても以下に記載をしておりますので、お目通しいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

実施の目的

個別のニーズや課題に対処し、お子さんが日常生活や社会参加に向けてスキルや能力の向上を焦点とし、個人の特定のニーズと目標に合わせてカスタマイズされたアプローチを提供することで、自立した生活を送ること目標とした支援を行います。

また、個別療育で行った課題を適切に評価し、集団療育においてその成果を最大限発揮できるよう、各支援員が着意を持ち、積極的に関わるための資とします。

開始時期

2024年4月（春休み後）より開始

対象児童

ASTEP（向日市及び長岡京市）を利用するお子さん（**保護者さんの送迎が必須となります。**）

実施者

向日市及び長岡京市の作業療法士もしくは児童指導員1名（手添えが必要な場合は2名）

- ※ 作業療法士や心理職が中心となって取り組みを進めてまいりますが、保護者さんやお子さまのニーズ、お子さまとの相性等を考慮の上、担当する支援員を検討していきます。

実施場所

- ◎ ASTEP 長岡京：おしずかるーム半面、療育室との区切りを明確にして行います。（場合によっては相談室を利用）

実施時間等

- ◎ 土曜日の隔週として、実施 30 分、フィードバック 10 分、計 40 分を基準とします。
- ※ 土曜日を固定利用されているお子さんが個別療育をご希望される場合、通常の土曜日利用（集団療育）も隔週利用となります。

- ◎ 時間枠について

枠	実施時間
10時枠	10:00～10:40
11時枠	11:00～11:40
12時枠	12:00～12:40
13時枠	13:00～13:40
14時枠	14:00～14:40
15時枠	15:00～15:40

- ◎ 実施の時間については、時間固定とします。面談時に、第 1 希望～第 3 希望までお聞かせください。ASTEP で時間枠をご提示いたします。
- ◎ 個別療育参加者につきましては、保護者さんによる送迎をお願いします。開始時間 5 分前までに施設に到着してください。
- ◎ 個別療育実施間、別室で待機していただきます。（外出いただきても差し支えございません。）
- ◎ フィードバックは 10 分間（10 時枠は 10 時 30 分より開始）行います。

ご利用の概要

- ◎ 契約支給量の範囲内でのご利用となります。（個別療育／日を 1 回の利用とカウントします。）
- ◎ 当面の間、契約支給量内の余剰の日数から振り分けを行います。月 2 回は実施したいため、場合によつては、平日→土曜日（個別療育実施）へのお振替をご案内します。
- ◎ 各市町村及び乙訓保健所への調整（支給量の範囲での利用）を終えています。各相談支援員さんを通じて、市町村への報告を行うよう通達を受けています。

個別療育支援計画

- ◎ 個別療育を開始するにあたり、実施するお子さんに対し【個別療育支援計画】を作成します。

【個別療育支援計画の作成例】※事業所で計画、保護者さんには個別支援計画で明示します。

児童氏名	
焦点を当てる ポイント	・身体の動かし方が上手くなることで、生活スキル向上をめざす
支援全体の方針	・楽しい活動の中でやる気を向上させながら、ボディイメージや全体的な筋力、重心移動などバランス力の成長発達を促していく ・大きい骨節から分離を促し、協調動作へと繋げることで道具を使用した生活動作の獲得を支援していく ・鉛筆・ハサミ・スプーンなどの道具を使用して実際に使用し、使用する際の独自の癖を修正していく ・正しい認識に繋がるよう、視覚的支援や具体的な表現での提示を行う
長期目標	・ボディイメージの認識が深まり、自分が思ったように身体を動かすことができる。身体の使い方が上手くなる ・自分でできる手ごたえをつかむことで積極性が増し、活動への注意力が持続する（注意・集中） ・両手の協調動作が向上し、道具を使用した生活動作のバリエーションが増える（スプーン・お箸・鉛筆・ハサミ・定期操作などの巧緻動作）
短期目標	・前後左右への重心移動や背面への意識が深まる ・動作をひとつひとつ分解し、簡単な動作の繰り返しにより意識して使える部位が増える ・簡単な操作で使用できる道具を正しく持ち、使用することができる（おたま・トンボ・リボン回しなどの手関節の動作）←援助あり
支援内容	・自分のボディイメージをつける活動の中で認知力を養い、身体の動きの確認 ① バランスボール・なべなべそこねぬけなどの遊び・新聞ひりひり・ツイスターゲーム・トンネルぐぐりなどの感覚統合あそび

- ◎ 将来への希望や目標に向けた、今のお子さんの段階を共有した上で、環境設定・課題設定を行います。保護者さんと作業療法士の意見が食い違う場合もあるかと思いますが、まずは保護者さんの意見に沿いつつ、支援員から課題を提案、支援員は保護者さん目線を持ちながら、視点を広く持って介入します。
個別療育は保護者さんとの関係性が成果に大きく影響する部分もあるため、じっくりゆっくり課題を進めていく必要があるものと考えております。

- ◎ 個別支援計画の下段（赤枠部分）に、作業療法支援の目標を設定、個別療育支援計画とのリンクを図り、保護者さんに対して評価のポイントを明示します。なお、個別支援計画作成時に、児童発達支援管理責任者と作業療法士は相互に連携を図り作成します。

【個別支援計画】

◎ 個別支援等の内容					
連番	施設で着目する本人のニーズ	本人の活動と支援内容(内容・頻度・回数・時間等)	達成時期	評価時期	留意事項
1	◎ 発達支援 一つのことに集中し、意欲的に最後まで自分の役割を果たす。	・集団活動の際には、最初に見通しを示し、支援者と一緒に状況を確認しながら、落ち込んでいるときにやさしく話を促す。 ・恐怖など自分の興味のある世界をより深く広くできるよう本などを触れるようにする。	令和6年1月	令和6年1月中	評価により支援内容を延長する場合がある。
2	◎ 発達支援 遊びや活動に円滑に参加できる。	・仲間と共に活動したり遊んだりする際に、自己中心的な思いや考えではなく周囲と足並みをそろえて活動できるよう支援する。 ・他者との関わりをロールプレイなどを用いて考える機会を積極的に作る。	令和6年1月	令和6年1月中	評価により支援内容を延長する場合がある。
3	◎ 発達支援 衝動的な言動が起きたときに適切に対応できる。	・衝動的な言動が起つてきたとき、自覚することができるよう指導員が声掛けする。 ・クールダウンする方法をいくつか学び、衝動的な言動が起きたとき、あるいは起きそうと思ったときに適切に対応できるようにする。	令和6年1月	令和6年1月中	評価により支援内容を延長する場合がある。
4					
5	◎ 家族支援 保護者と話す機会を定期的に設け、困りごと等に対する支援を行う。	一回／週を基準として、事業所での様子を丁寧に伝えるとともに、家庭や学校での様子を聞き取り情報交換・共有を行う。	令和6年1月	令和6年1月中	評価により支援内容を延長する場合がある。

個別療育のアセスメント記録

個別療育の経過については、【アセスメント記録（O T用）】に記録し、その経過を評価し、必要に応じて修正します。※事業所で経過を記録します。

アセスメント記録（OT用）					実施者 : [REDACTED]
児童氏名		学年	小3	達成期間	個別支援計画の評価時期まで
焦点を当てるスキル（領域）	● 注意の持続（見通しをもって最後まで活動する） ● 自立課題（自分で始めて自分で終わる）（●適切な要求と応答・拒否/文章構成的な部分）				
短期目標と使用する課題	① 5分ほど離席せずに課題に取り組むことができる。⇒マッチング課題など鉛筆を使わないもの ② 1つの課題を自分で始めて自分で終え、報告することができる。⇒同上 ③ 指導員の質問に対して短い言葉で応答することができる。⇒『何個？』『どんな色？』などの質問課題				
最終評価 ※計画終了時に記入					
月	日	課題	様子と評価		継続 OT 実行
例		①4×4マッピング課題 ②形の教当て	①初回なので、手添えにて後始末を確認。指導員のキューがあれば課題に取り掛かれる。2分ほどで完成。 ②指導員の気を引こうと、間違いを答えることあり。こちらは淡々と対応し、待つと正しいものは答える。イラッとしたしそうな雰囲気はあり。		継続 OT 実行

取り組みの事前準備

- ◎ 保護者さんとの面談（評価のすり合わせと目標共有、見通し）を行います。
- ◎ お子さんによっては、本人と目標を共有します。

※ 集団活動内での個別的なフォローについて、必要に応じて継続していくことが大前提です。

個別療育実施後の評価等

- ① 個別療育実施後、保護者に対し、個別療育の内容、評価をお伝えするとともに、療育日誌でご報告します。（お子さんによっては自分の話をされたくない子もいるため要相談）
- ② 明朝の打ち合わせにて、支援員間で情報共有、意見を取りまとめ【アセスメント記録（OT用）】に記録します。
- ③ 【個別療育（作業療法）スケジュール】で実施日を管理、次回課題を計画します。

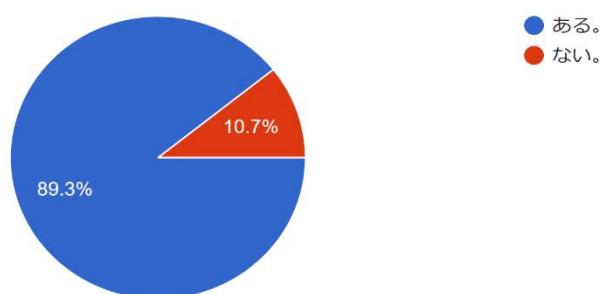
※ 実施前月に翌月の個別療育実施日（時間）の調整を行います。隔週の土曜日（時間固定）とします。

アンケートの結果

【ASTEP 向日市】

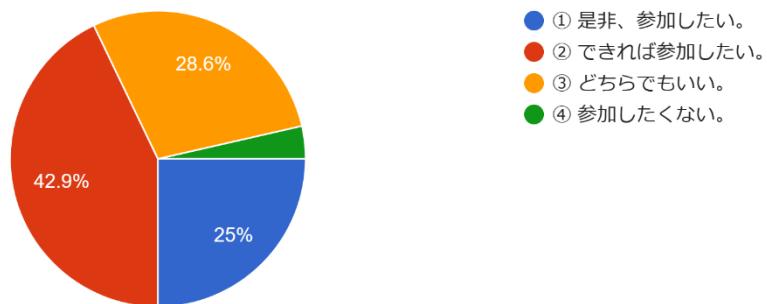
1 個別療育に興味はありますか？

28件の回答



2 個別療育を行うこととなれば、参加したいですか？

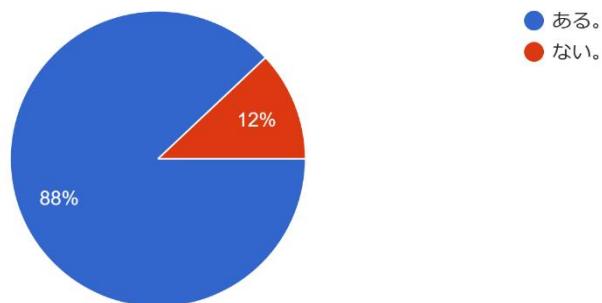
28 件の回答



【ASTEP 長岡京】

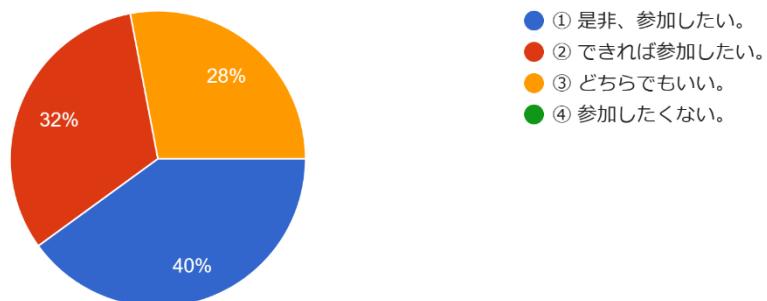
1 個別療育に興味はありますか？

25 件の回答



2 個別療育を行うこととなれば、参加したいですか？

25 件の回答



保護者からのご質問（Q&A）

ご質問	回答
毎回になると、都合などもありますが、この日に個別療育ですと、日付とやる頻度などを、決めて頂ければ、是非とも参加させて頂きたいです。	隔週の土曜日を基準としてご参加いただきます。時間に関しましても基本は固定でお願いしますが、相互調整の上、決定していきたいと考えております。
個別療育は、●●にも必要な事だと思います。ただ土曜日は家族の時間でもあり参加は難しいです。	土日を家族団らんの時間として過ごされている方もいらっしゃいます。来春より開始はしますが、参加をご希望の際はお声がけください。
子供の得意な所を伸ばし、苦手な所を補えるような内容を期待します。	お子さんが楽しめてこそ効果を期待できるものと考えております。課題設定を適切に行いながら進めてまいります。
親は子供に家で出来る事をしているので。個別での親の参加よりは、他者からの発達を促す療育を希望します。	個別療育間、保護者さんはご退出いただきます。（施設での待機は差支えございません。）
作業療法に月1回行っていましたが、移動時間が負担になるのでやめてしまいました。只今土曜日に月2回利用させて頂いており、これ以上の土曜日利用は私用や休養を考えると難しいですが、アステップさんでは、どのような個別療育をされるのかは興味あります♪ 具体的にどんな事をするのか、親としてどんな事まで求めて良いのか良かつたら発信して下さると幸いです	個別療育の課題につきましては、お子さんにとって今必要なことを保護者さんと支援者で相談したうえで、設定していく予定となっております。ニーズの大小や内容は親御さんやお子さんそれぞれですので、その希望や目標を達成するに向けた課題の段階設定を含め、ご相談したうえで決定してまいります。ですので、まずはどんなことでも相談してくださいと、こちらとしても幸いです。
具体的にどのような内容を予定されているのか、事前に教えていただけるとありがたいです。	身辺動作・コミュニケーション・運動機能・学習支援など、幅広く支援していく予定です。個別療育の時間自体が限られていますので、保護者さんと相談の上、目標や課題に優先順位を付けて課題を設定してまいります。
3歳から4歳まで個別療育を受けてきて本人の自己肯定感や集中力の基盤を作っていました。なので個別療育には興味があります。ただ、土曜日は母親の仕事のため、主人のスケジュールによって参加できる日、同伴できる日が限られてしまいます。	実施の間隔については隔週土曜日とさせていただきますが、お仕事等の都合もあるかと存じますので、実施日（時間）を相互調整して実現できればと考えております。

<p>母は土曜日もほぼ仕事のため父が送迎できるかというところで左右されますが、個別療育に私が興味あります。また児童にとっても何か成果が出るかどうかに関わらず家でダラダラすごす(笑)よりは有意義な時間になるのではないかと考えています。</p> <p>●●でいうと集団で行なった・行うことの、目的・目標の理解が個別であるとよりわかりやすいので、集団療育とも連携を取れれば●●の理解が深まるのではないかと思います。例えば「昨日やったツリー作りのめあてはこういうことやったよ」とか「●●くんとの関係について」という具体的なものが良いと勝手に考えています。個別療育がどんなものかわかっておらずすみません。ただ現状で集団療育での●●の課題を理解してくれている職員の方に、集団・個別どちらの●●も見てもらえるというのはありがたいです。</p>	<p>保護者さんのニーズを面談（お子さんへの評価のすり合わせと目標共有、見通し付を含む）の場でお聞かせいただき、擦り合わせを行います。課題に対して優先順位をつけながら、スマールステップで進めていければと考えておりますので、是非ご参加ください。</p>
<p>個別療育とはどんなものなのか勉強不足でよく分からぬのですが、興味はあるので、もし行うことになったら参加してみたいなと思っています。</p> <p>○場所は長岡京のみなのでしょうか？</p> <p>○普段利用させてもらう土曜日 10 時～16 時と個別療育 1 時間は同じ 1 回と考えるのでしょうか？</p>	<p>実施場所につきましては、ASTEP 長岡京での実施となります。なお、通常の土曜日利用と同じ 1 回の利用となります。</p>
<p>できれば利用したいと回答したものの、曜日時間や他の利用日との兼ね合いもあり、現実的に利用することは難しいかもしれません。</p>	<p>来春より開始はしますが、参加をご希望の際はお声がけくださいませ。</p>
<p>下の子同伴が可能であれば参加したいです。</p>	<p>下のお子さん同伴でも問題ございません。しかしながら、個別療育間、保護者さんと兄弟さんはご退出いただくようお願いします。（要相談）</p>
<p>興味はありますが、今の環境（送迎者や習い事とのスケジュール等）では参加は厳しいかなと思いました。今後環境が整うことがあれば、参加させたいなと思いました。</p>	<p>環境が整い次第、1 つの選択肢としてご検討いただければと思います。</p>
<p>今のところは通常の利用だけでよいです。様子見てまた検討したいと思います。</p>	<p>参加してみたいということであればお声がけくださいませ。</p>
<p>個別療育を受けてみたいですが、親の引率という事であれば仕事を休む必要があるのと、下の子をどうするか、という問題があるのでかなり調整が必要です。</p>	<p>お仕事との兼ね合いにつきましては、事前に日程調整（土曜日隔週を基準）をさせていただきます。下のお子さまを連れての引率につきましては、</p>

<p>要です。●●を連れて行くのはちょっと大変です。 癪癩起こすのではと思います。</p>	<p>個別療育間、必ず保護者さんがその場にいなければならぬということではありません。面談時に調整させてください。</p>
<p>言語療法士さんなどが作文や文章の書き方教えて頂けたりパソコンを使った資格への1歩があればとても有難いです。</p>	<p>現在のところ、言語聴覚士は在籍していない状況から実施のところは考えておりません。保護者さんのご意見等踏まえ、実施可能な取り組みにつきましては引き続き検討してまいります。</p>
<p>個別療育の具体的な内容がわからないので例えばどのような事をするのか知りたいと思いました。</p>	<p>身辺動作・コミュニケーション・運動機能・学習支援など、保護者様やお子さんのニーズに合わせて課題を設定してまいります。苦手な部分への支援についても楽しく展開していきたいと考えております。</p>
<p>土曜日は、私が午後から仕事なので、午前中であれば参加可能です。 親としても勉強させていただける機会があればありがたいですし、本人がもっと自分で生きやすくできる力を受けられたらと思っているので、できることは何でもやりたいと思っています。 ご都合が合えば良いのですが、機会をいただければ、是非宜しくお願ひ致します。</p>	<p>是非、ご参加ください。課題につきましては、面談時に情報共有をさせていただきます。保護者さんのニーズをお聞かせください。</p>
<p>個別でずっと療育をしていたのですが、個々で見てもらう時間もできたら嬉しいです。</p>	<p>個別療育実施の目的は記載のとおりですが、個別集中的に成果を積み上げることで、集団の場で活かせられるよう進めてまいります。</p>
<p>個別療育に興味はありますが、平日は学校、放課後デイと本人達は長時間頑張ってと思うので、もうしばらくは土日はゆっくり過ごすようにしようと 思います。よろしくお願ひします。</p>	<p>余暇の時間をご家族とともに過ごされることで得られる安心感もあるかと思います。宜しくお願ひいたします。</p>
<p>個別療育には興味があり、実施して頂きたい気持ちもあります。 実施となれば、上記の回答の通りの条件は受け入れられます。 ですが、母が土曜日仕事の日があり父が引率、同伴となると兄が休みに1人になってしまうのもなあ…と考えたり。隔週でとなると、平日利用が減ってしまうので、平日のお留守番が増えるので現段階では難しいかなあ。と言う感じです。冬休みや春休みの増量がしにくい月は、更にかなと…個別療育希望となれば、隔週土曜日で固定のみです</p>	<p>隔週の土曜日基準としてお願ひをしております。しかしながら、お仕事の状況、学童の利用状況等、さまざまな点を考慮して判断をさせていただくことになるかと存じます。 月1回の個別療育となりますと、経過を追うことが難しく、その日利用ができないなれば2ヶ月の間隙が生じることから、土曜日隔週（月2回）でお願いいたします。 ASTEPの想いとしては隔週を基準として、個別的に見させてもらいたく存じます。現在の利用者さ</p>

<p>か？継続して見ると言う事もあると思うのですが、例えば月1回などは難しいのでしょうか？</p> <p>保育園の時に通っていた療育で、個別療育の時間を持ってもらえた事があり、その時は月2回程度を4ヶ月だったのですが、伸びがあり実施させたい気持ちは強いです。</p>	<p>多くの多くのニーズ等も鑑み、隔週での実施となりました。</p> <p>ご理解の程、宜しくお願ひいたします。</p>
<p>土曜日に追加利用した時にどこか1時間個別療育にあてていただく、というのは可能ですか？</p>	<p>隔週の土曜日を基本としてお願いをしておりますが、さまざまな状況から確認、判断をさせていただき存じます。</p> <p>追加をしていただく場合、隔週でご参加いただきますようご協力のほど宜しくお願ひいたします。</p>
<p>土曜日は仕事があつたりもするので、必ずすべて行ける訳ではないですが、個別療育には興味があるので一度受けてみたいと思います。</p> <p>個別療育がどのような物かわからないので詳しく聞きたいです。</p>	<p>継続的に成果を積み上げることへのご理解、ご協力をお願いするとともに、隔週土曜日（基準）のご参加を宜しくお願ひいたします。</p> <p>支援員との1対1の場で、お子さんにあった環境設定下の中、保護者様やお子さんのニーズに合わせた課題に取り組みます。内容につきましては、保護者さんとの情報共有を重ね、設定していく予定です。</p>
<p>個別療育が実際どんな事をするのかは少し気になります。正直なところした方がいいのかしなくていいのかがわからないので、支援員の方達の意見なども聞いて判断したいです。</p>	<p>集団だからこそ学べるもの、個別だからこそ学びやすいものなどそれぞれですので、いつでもご相談ください。また、集団療育中にも、必要であれば個別的な対応を引き続き行ってまいります。</p>
<p>一対一先生は固定式になるんですか？</p> <p>色々な先生との対応になるのかあ。先生の相性で延びる事もあるので、前の療育で先生がころころ変わり過ぎて、慣れるまでに3ヶ月から半年かかり、どういう個別療育なのか興味があります。</p>	<p>1対1（手添えが必要な場合は2名）で行います。基本的に向日市・長岡京市の作業療法士が実施いたします。</p>
<p>隔週でないと参加できないでしょうか？月に1回ほどの参加を希望します。</p>	<p>上記でも理由を記載させていただきましたが、継続的に行い成果を積み上げることへのご理解、ご協力をお願いするとともに、隔週土曜日（基準）のご参加を宜しくお願ひいたいと思います。</p>
<p>土曜の個別療育に日数を割り当てると、平日の親のコンディションが崩れるのではないか不安があります…（情けない話ですみません…）</p> <p>現状の子供の様子を見ると、親子で個別療育に参加出来るのはありがたいお話だと思っております！</p>	<p>親御さんの送迎という面でもご負担を強いる形になりますが、個別集中的に関わりができる機会はASTEPとしても貴重なものと考えております。是非ご検討いただけすると幸いです。</p>

<p>先程、お送り頂いた時にお伝えしましたが●●がとても先生に反抗的で途中から何を目的で受けているのかわからない状況になりました。今一度、OTの目的とはなんぞや？と言うところにいるのが現状です。</p>	<p>お子さん自身が前向きな気持ちで活動できるよう課題内容は考えてまいります。上手くいかないことは起こり得ますので、保護者様・お子さんとも対話を重ね、療育内容を試行錯誤してまいります。必要に応じて、お子さんとの目標共有を行っていきます。</p>
<p>今の放課後デイの参加目的が、集団生活の中でどう学ぶかにあるので希望はしませんが、個別療育で将来的に役立つことがあれば今後利用も視野に入れていきたいと思っております。</p>	<p>保護者さんの ASTEP へのニーズは『集団における社会性』であるご家庭がほとんどです。春より開始いたしますが、また気になることがありましたらご質問をお待ちしております。</p>
<p>本人が土曜日に行くのを嫌がっているので、ちょっと厳しいかも知れません</p>	<p>何よりお子さん主体で行っていますため、子どもさんの意思を尊重してあげてください。</p>

さいごに

非常に多くのご質問がありましたことから、個別療育への興味・関心は非常に高いものだと感じております。

土曜日の貴重なお時間を頂戴することもあり、さまざまな場面で調整いただく点が出てくるものと思料しておりますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お子さんや保護者さんが思い描く社会自立の形に、少しずつではあるものの着実に歩を進められるよう、中心となって関わりを進める作業療法士、補佐をする児童発達支援管理責任者や児童指導員等、ご家族とともに一丸となって成果を求めていきたいと考えております。

本ご案内とともに、参加に係る意思確認のためのアンケート（Google フォーム）を送付いたします。お子さんやご家族さんの意向をまとめていただけると幸いです。

その他、ご不明な点等ございましたら、いつでもお電話、LINE でのご連絡をお待ちしております。